



**「The First 1,000 days¹の母子保健に関する日越合同シンポジウム」を開催
ベトナムの妊産婦の健康改善、乳幼児の健全な成長への貢献を目指す取り組み**

2023年10月2日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

JICAとアサヒグループ食品株式会社（本社 東京、社長 川原浩）は中小企業・SDGsビジネス支援事業として本年7月から、「ベトナム国 The First 1,000 days の母子保健改善ビジネス実証事業」を実施しています。同事業の一環として、9月30日にベトナム国立小児病院、ベトナム小児科学会やベトナム栄養学会と協力して「The First 1,000 days の母子保健に関する日越合同シンポジウム」をハノイで開催しました。本シンポジウムは、ベトナムにおける最初の1,000日の食事・栄養に関する現状と課題、日本におけるガイドラインに関して関係者の理解を深めることを目的としており、総勢110名のベトナム保健省をはじめとする政府関係者や専門家が参加しました。シンポジウムでは、ベトナム側から北部山岳地域や南部における母子保健の課題、最初の1,000日における取り組み及び、日本の母子保健施設を視察した際の気づきについて報告があり、日本側から日本の母子保健に関する施策とガイドライン、口腔機能の発達と離乳の進め方、日本のベビーフードの設計について発表がありました。

参加者からは、「子供に何を食べさせるかについて、栄養面だけではなく、子供の摂食機能の発達に応じて何を食べさせるかという視点が非常に参考になった。ベトナムでも成長段階に応じた離乳食の内容を考えることが重要」といった意見があり、母子保健について認識を深めるきっかけとなりました。

ベトナムでは、農村部の低栄養や都市部の肥満など、様々な栄養・発育に関する問題が発生しています。

このシンポジウムを皮切りに、アサヒグループ食品株式会社は実証事業を通じ、ベトナムでの離乳食の受容性や改善ポイントを探り、ベトナムの栄養分野における専門家と共に保健医療従事者、養育者に対して適切な食事・栄養の知識を普及させ、妊産婦の健康改善、乳幼児の健全な成長に貢献します。また、将来的には適切なベビーフード製品を展開し、ベトナムでの事業成長を目指します。

JICAも引き続き、母子保健や栄養分野に関する産官学連携の取り組みを支援していきます。

お問い合わせ：JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005(内線 137) E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp

¹WHOでは、妊娠してから出産までの約270日と、子どもが生まれてから、2歳になるまでの730日を合わせた1,000日間の栄養摂取は将来の健康に大きく影響するため重要な期間としています。